

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
設定日	2017年3月31日
信託期間	2017年3月31日～2021年12月27日（約4年9ヵ月）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債に投資することにより、高水準の利息収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。高利回り社債への投資にあたっては、流動性、発行状況、発行体の信用力やバリュエーション等を勘案しつつ、主として信託期間内に償還日が到来する銘柄に投資します。原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。
主要運用対象	米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジあり） ・米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12の受益証券を主要投資対象とします。 米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12 ・主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債を主要投資対象とします。
投資制限	米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジあり） ・株式への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12 ・株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年6月、12月の25日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ
コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

運用報告書（全体版）

第8期

決算日 2020年12月25日

米ドル高利回り社債ファンド 2017-03（為替ヘッジあり） （愛称）^{うさ}USAギフト（為替ヘッジあり）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジあり）（愛称：USAギフト（為替ヘッジあり）」は、去る2020年12月25日に第8期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジあり）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジあり）」

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込騰落	中率			
	円	円	%	%	%	百万円
第4期（2018年12月25日）	9,800	10	△2.3	93.7	—	578
第5期（2019年6月25日）	10,161	30	4.0	92.8	—	566
第6期（2019年12月25日）	10,167	40	0.5	92.1	—	456
第7期（2020年6月25日）	10,001	10	△1.5	86.2	—	388
第8期（2020年12月25日）	10,130	40	1.7	93.0	—	380

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*基準価額の騰落率は分配金込み

*先物組入比率は、買建比率－売建比率

*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		公社債 組入比率	債券先物 組入比率
	騰落率	騰落率		
	円	%	%	%
(期首) 2020年6月25日	10,001	—	86.2	—
6月末	9,967	△0.3	87.5	—
7月末	10,074	0.7	85.5	—
8月末	10,138	1.4	80.9	—
9月末	10,145	1.4	90.2	—
10月末	10,136	1.3	85.0	—
11月末	10,172	1.7	92.5	—
(期末) 2020年12月25日	10,170	1.7	93.0	—

*騰落率は期首比です。

*期末基準価額は分配金込み

*先物組入比率は、買建比率－売建比率

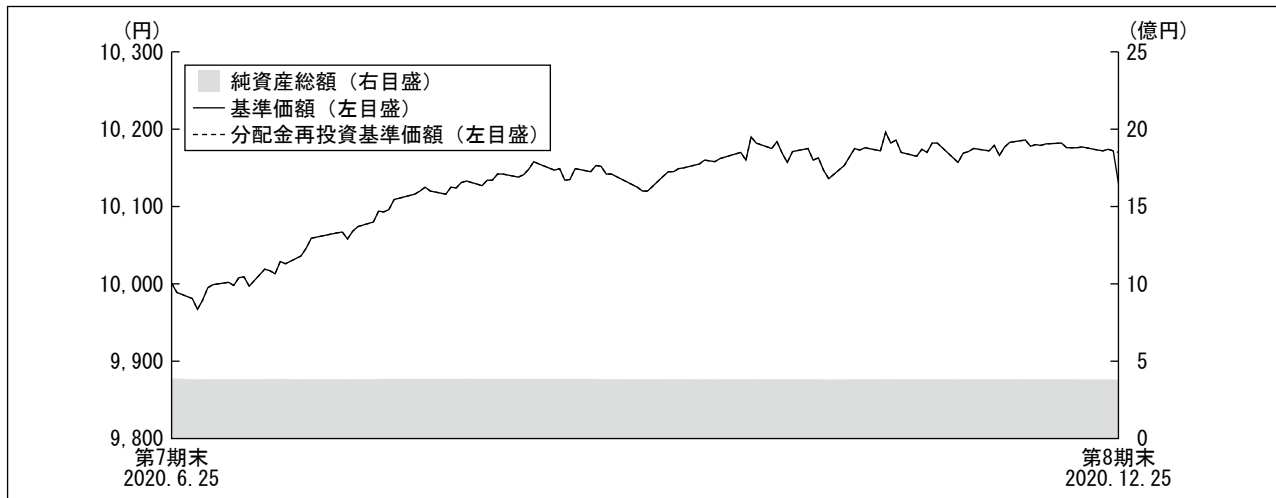
*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジあり）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジあり）」

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第8期首：10,001円

第8期末：10,130円（既払分配金 40円）

騰落率：+1.7%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12への投資を通じて、主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債へ投資を行いました。

（上昇要因）

4-6月期の業績が予想を上回った海運会社のNAVIOS MARITIME ACQUISITION CORP、4-6月期・7-9月期と続けて業績が良好でクレジットが改善傾向となった個人向けローン会社のNAVIENT CORP、期中にオーバーパー（額面を上回る価格）で繰上償還された天然ガス・石油の独立系探鉱・生産会社のQEP RESOURCES INC、既保有の周波数を活用し、5G（第5世代移動通信システム）ネットワークを構築中の衛星放送サービス会社のDISH DBS CORP、住宅需要の追い風を受けた住宅建設会社のKB HOMEなどの個別銘柄がプラスに寄与しました。

（下落要因）

「コロナ禍」で外食を控える消費行動が逆風となった、レストランのYUM! BRANDS INCがマイナスに作用しました。

米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジあり）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジあり）」

【投資環境】

当期の米ドル高利回り社債市場は、スプレッドが縮小してプラスのリターンとなりました。7-8月は、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少傾向が見られる中、新型コロナウイルスの治療薬やワクチンの研究開発に進展が見られたことなどを背景に、スプレッドが縮小したことなどから市場は上昇しました。しかし、9月は株式などのリスク性資産が軟調となる中で下落し、4月以降の月次ベースで初のマイナスリターンとなり、10月にも新型コロナウイルスの新規感染者数の増加や欧州での行動制限の強化、米国の追加経済対策の協議停滞、米国の大統領・議会選挙の投票日が迫る中での投資家のリスク削減などを背景に、スプレッドが拡大する局面もありました。ただ、11月に入り、ファイザー、モデルナ、アストラゼネカが開発中の対新型コロナウイルス感染症用ワクチンについて高い有効性が発表されて実用化に向けて大きく進展したこと、バイデン氏の米国大統領選挙における事実上の勝利により米国の政治をめぐる不透明感が後退したことなどを背景に、スプレッドは大きく縮小しました。12月も、ワクチン普及による経済活動の正常化や追加経済対策成立への期待、FOMC（米連邦公開市場委員会）で量的金融緩和の長期化が示されたことなどが支援材料となり、市場は堅調でした。

【ポートフォリオ】

■米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジあり）

主要投資対象である米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12を期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は93.0%としました。

また、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。

■米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

当期の騰落率は、 $\Delta 0.7\%$ となりました。

主な売買としては、コーポレート・アクションによる入金を受け、ファンダメンタルズ（基礎的条件）対比のバリュエーション（投資価値評価）から見て投資妙味が高いと判断した、NETFLIX INC、ALLY FINANCIAL INC、DISH DBS、FORD MOTOR CO、OCCIDENTAL PETROLEUM CORPなどを購入しました。

なお、コール（期限前償還）またはテnder（買入消却）された主な銘柄は、ADT SECURITY CORP、ANIXTER INC、QEP RESOURCES INC、SPRINGLEAF FINANCE CORPなどでした。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジあり）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジあり）」

【分配金】

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、1万口当り40円（税込み）とさせていただきます。
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第8期	
	2020年6月26日 ～2020年12月25日	
当期分配金	(円)	40
(対基準価額比率)	(%)	0.39
当期の収益	(円)	40
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,526

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジあり）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債に投資することにより、高水準の利息収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。

■米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

当ファンドでは、低金利環境下での利回りへの需要を背景に、2021年はスプレッド縮小の余地があると見えています。2020年の支援材料であったセカンダリーマーケット・コーポレートクレジットファシリティー（新型コロナウイルスの感染拡大による米経済へのダメージを抑制しようと、FRB（米連邦準備制度理事会）が発表した緊急融資プログラムの1つ。特別目的会社の新設による、流通市場からの社債または社債ETFの購入）は同年末で終了し、再ロックダウンなどボラティリティ（価格変動性）の上昇要因はありますが、デフォルト（債務不履行）率の低下やワクチン実用化の進展が、追い風になると見込んでいます。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けたセクターの中でも、財務体力の高い銘柄には選別的に投資機会があると見えますが、ファンダメンタルズが安定的でリファイナンスニーズが限定的な発行体の債券を引き続き選好しています。今後については、バイ・アンド・ホールド戦略を基本として、市場動向や企業ファンダメンタルズおよびクレジット状況を注視しながら、信託期間終了まで高水準の利回りと安定的な収益の確保を目指した運用を行う方針です。

米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジあり）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジあり）」

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2020年6月26日～2020年12月25日		
	金額	比率	
信託報酬	67円	0.662%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,105円です。
（投信会社）	(43)	(0.425)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(22)	(0.221)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.017)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	2	0.023	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.017)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	69	0.684	

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

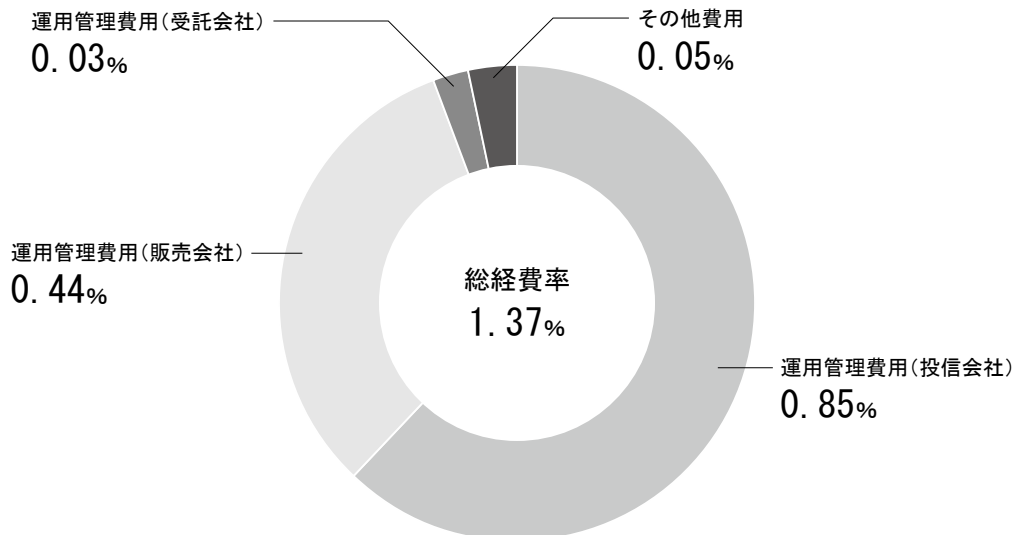
なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジあり）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジあり）」

参考情報 総経費率（年率換算）



*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.37%です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2020年6月26日から2020年12月25日まで）

	設		解	
	口	金 額	口	金 額
	千口	千円	千口	千円
米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12	12,786	13,956	21,739	23,646

米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジあり）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジあり）」

主要な売買銘柄

（2020年6月26日から2020年12月25日まで）

■米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12における公社債の主要な売買銘柄

当		期	
買	付	売	付
銘	柄	銘	柄
		金額	金額
		千円	千円
YUM! BRANDS INC 3.75	11/01/21	60,886	—
FORD MOTOR COMPANY 9.215	09/15/21	46,002	—
OCCIDENTAL PETROLEUM COR 2.6	08/13/21	33,817	—
NETFLIX INC 5.375	02/01/21	23,143	—
ALLY FINANCIAL INC 4.25	04/15/21	19,118	—
DISH DBS CORP 6.75	06/01/21	17,945	—
KB HOME 7	12/15/21	16,672	—
CSC HOLDINGS LLC 6.75	11/15/21	13,665	—
DELL INC 4.625	04/01/21	10,542	—
CNH INDUSTRIAL CAPITAL L 4.875	04/01/21	10,253	—

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

（2020年6月26日から2020年12月25日まで）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

2020年12月25日現在

■親投資信託残高

	期首（前期末）		当		期		末	
	口	数	口	数	評	価	額	
	千口		千口		千円		千円	
米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12	360	365	351	412	378,788			

*米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12全体の受益権口数は、615,080千口です。

投資信託財産の構成

2020年12月25日現在

項	目	当		期		末	
		評	価	額	比	率	
		千円		%			
米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12		378,788		98.4			
コール・ローン等、その他		6,169		1.6			
投資信託財産総額		384,957		100.0			

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 アメリカ・ドル=103.48円

*米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

当期末における外貨建資産（662,183千円）の投資信託財産総額（672,229千円）に対する比率 98.5%

米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジあり）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジあり）」

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年12月25日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	757,411,605円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	50,000
米ドル高利回り社債 マザーファンド2021-12(評価額)	378,788,023
未 収 入 金	378,573,582
(B) 負 債	376,684,073
未 払 金	372,617,560
未 払 収 益 分 配 金	1,503,418
未 払 信 託 報 酬	2,542,002
そ の 他 未 払 費 用	21,093
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	380,727,532
元 本	375,854,660
次 期 繰 越 損 益 金	4,872,872
(D) 受 益 権 総 口 数	375,854,660口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	10,130円

*元本状況

期首元本額	388,795,238円
期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	12,940,578円

損益の状況

自2020年6月26日
至2020年12月25日

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	8,911,384円
売 買 益	15,434,125
売 買 損	△ 6,522,741
(B) 信 託 報 酬 等	△ 2,563,095
(C) 当 期 損 益 金 (A+B)	6,348,289
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 126,862
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	154,863
(配 当 等 相 当 額)	(229,937)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 75,074)
(F) 計 (C+D+E)	6,376,290
(G) 収 益 分 配 金	△ 1,503,418
次 期 繰 越 損 益 金 (F+G)	4,872,872
追 加 信 託 差 損 益 金	154,863
(配 当 等 相 当 額)	(229,937)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 75,074)
分 配 準 備 積 立 金	57,128,648
繰 越 損 益 金	△ 52,410,639

*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

*当期中において、親投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託報酬の中から支弁している額は712,970円です。

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配 当 等 収 益 (費用控除後)	8,173,240円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 収 益 調 整 金	229,937
(D) 分 配 準 備 積 立 金	50,458,826
分 配 可 能 額 (A+B+C+D)	58,862,003
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	(1,566.08)
収 益 分 配 金	1,503,418
(1 万 口 当 り 収 益 分 配 金)	(40)

米ドル高利回り社債ファンド2017-03（為替ヘッジあり）

愛称：「USAギフト（為替ヘッジあり）」

分配金のお知らせ

1万口当り分配金(税込み)

40円

■分配金のお支払いについて

分配金のお支払いは決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

■課税上のお取扱いについて

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

※法人の受益者の場合、税率が異なります。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※課税上のお取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

運用報告書

決算日：2020年12月25日

(第4期：2019年12月26日～2020年12月25日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債を中心に投資することにより、高水準の利息収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	主に世界の企業が発行する米ドル建ての高利回り社債を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none">・ 株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以内とします。・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

設定以来の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		公社債組入比率	債券先物組入比率	純資産総額
		騰落	率			
(設定日) 2017年3月31日	円 10,000	% —	% —	% —	% —	百万円 950
第1期 (2017年12月25日)	10,487	4.9	92.2	—	1,171	
第2期 (2018年12月25日)	10,283	△1.9	95.7	—	973	
第3期 (2019年12月25日)	11,117	8.1	91.1	—	823	
第4期 (2020年12月25日)	10,779	△3.0	93.5	—	662	

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

*先物組入比率は、買建比率－売建比率

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額	騰落率		公社債組入比率	債券先物組入比率
		騰落	率		
(期首) 2019年12月25日	円 11,117	% —	% 91.1	% —	
12月末	11,150	0.3	92.0	—	
2020年1月末	11,114	△0.0	86.2	—	
2月末	11,104	△0.1	96.8	—	
3月末	10,469	△5.8	91.7	—	
4月末	10,511	△5.5	86.5	—	
5月末	10,732	△3.5	85.6	—	
6月末	10,896	△2.0	86.7	—	
7月末	10,712	△3.6	87.5	—	
8月末	10,875	△2.2	80.9	—	
9月末	10,943	△1.6	89.2	—	
10月末	10,826	△2.6	85.3	—	
11月末	10,804	△2.8	92.1	—	
(期末) 2020年12月25日	10,779	△3.0	93.5	—	

*騰落率は期首比です。

*先物組入比率は、買建比率－売建比率

運用経過

【基準価額等の推移】

期首：11,117円
 期末：10,779円
 騰落率：△3.0%

【基準価額の主な変動要因】

(上昇要因)

景気循環消費財関連では住宅建設セクターが堅調なリターンとなり、個別銘柄ではKB HOMEがプラスに寄与しました。そのほか、既保有の周波数を活用し5G（第5世代移動通信システム）ネットワークを構築中の衛星放送サービス会社のDISH DBS CORP、2020年4-6月期・7-9月期と続けて業績が良好でクレジットが改善傾向となった個人向けローン会社のNAVIENT CORPなどがプラスに寄与しました。

また、期中にオーバーパー（額面を上回る価格）で繰上償還されたインフラ設備会社のANIXTER INC、セキュリティサービス会社のADT CORP、天然ガス・石油の独立系探鉱・生産会社のQEP RESOURCES INCなどの保有もプラスに寄与しました。

(下落要因)

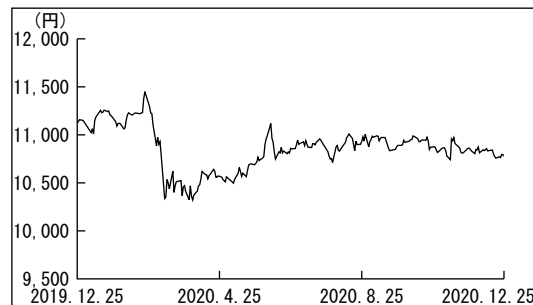
クレジットが悪化した航空機等の製造会社のBOMBARDIER INC、2020年3月の急落が大きかった海運会社のNAVIOS MARITIME ACQUISITION CORP、「コロナ禍」で外食を控える消費行動が逆風となった、レストランのYUM! BRANDS INCがマイナスに作用しました。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によるリスク回避的な動きや、FRBの金融緩和による米金利の低下、米中関係悪化への警戒などから、円高・米ドル安となったことも下落要因となりました。

【投資環境】

当期の米ドル高利回り社債市場は、「コロナ禍」前の2019年12月の水準と比べてスプレッドは拡大したものの、ベース金利である米国債利回りの低下とクーポン収入の積み上げ効果により、プラスのリターンとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大が欧米に波及するとスプレッドは急拡大し、特に2020年3月は主要都市におけるロックダウン（都市封鎖）による経済への悪影響や、産油国の減産交渉決裂による原油価格の急落が重石となり、大きなストレスがかかりました。しかし、4月以降は、主要国の金融政策、財政政策を背景に市場は回復に向かい、中でもFRB（米連邦準備制度理事会）が4月に投資適格からハイイールドへ格下げされた銘柄やハイイールド債券ETF（上場投資信託）の購入を発表したことは、米ドル高利回り社債市場にとって大きな支援材料となり、価格が上昇しました。また、7-8月も、新型コロナウイルスの新規感染者数の減少傾向や治療薬・ワクチンの研究開発の進展などを背景に上昇しました。その後9月には、株式などのリスク性資産の下落を背景に4月以降の月次ベースで初のマイナスリターンとなり、10月にも新規感染者数の増加や欧州での行動制限の強化、米国の追加経済対策の協議停滞、米国の大統領・議会選挙の投票日が迫る中での投資家のリスク削減などを背景に、スプレッドが拡大する局面もありました。ただ、11月に入り、ファイザー、モデルナ、アストラゼネカが開発中の対新型コロナウイルス感染症用ワクチンについて高い有効性が発表されて実用化に向け大きく進展したこと、バイデン氏の米国大統領選挙における事実上の勝利により米国の政治をめぐる不透明感が後退したことなどを背景にスプレッドは大きく縮小、12月も、ワク

基準価額の推移



米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

チン普及による経済活動の正常化や追加経済対策成立への期待、FOMC（米連邦公開市場委員会）で量的金融緩和の長期化が示唆されたことなどが支援材料となり、市場は堅調でした。

【ポートフォリオ】

当期の騰落率は、△3.0%となりました。

主な売却としては、クレジットの悪化を受け航空機等の製造会社のBOMBARDIER INCを全て売却しました。

一方、満期償還やコーポレート・アクション等による入金を受け、ファンダメンタルズ（基礎的条件）対比のバリュエーション（投資価値評価）から見て投資妙味が高いと判断した、DELL INTERNATIONAL LLC / EMC CORP、ALLY FINANCIAL INC、DISH DBS CORP、KB HOME、FORD MOTOR CO、OCCIDENTAL PETROLEUM CORPなどを購入しました。

なお、コール（期限前償還）、またはテnder（買入消却）された主な銘柄は、BALL CORP、FIRST QUANTUM MINERALS LTD、HCA HEALTHCARE INC、ADT SECURITY CORP、ANIXTER INC、QEP RESOURCES INC、SPRINGLEAF FINANCE CORPなどでした。

今後の運用方針

当ファンドでは、低金利環境下での利回りへの需要を背景に、2021年はスプレッド縮小の余地があると思っています。2020年の支援材料であったセカンダリーマーケット・コーポレートクレジットファシリティー（新型コロナウイルスの感染拡大による米経済へのダメージを抑制しようと、FRB（米連邦準備制度理事会）が発表した緊急融資プログラムの1つ。特別目的会社の新設による、流通市場からの社債または社債ETFの購入）は同年末で終了し、再ロックダウンなどボラティリティ（価格変動性）の上昇要因はありますが、デフォルト（債務不履行）率の低下やワクチン実用化の進展が、追い風になると見込んでいます。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けたセクターの中でも、財務体力の高い銘柄には選別的に投資機会があると見ていますが、ファンダメンタルズが安定的でリファイナンスニーズが限定的な発行体の債券を引き続き選好しています。今後については、バイ・アンド・ホールド戦略を基本として、市場動向や企業ファンダメンタルズおよびクレジット状況を注視しながら、信託期間終了まで高水準の利回りと安定的な収益の確保を目指した運用を行う方針です。

1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019年12月26日～2020年12月25日		
	金額	比率	
その他費用	4円	0.039%	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(4)	(0.038)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	4	0.039	
期中の平均基準価額は10,845円です。			

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 円未満は四捨五入しています。

米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

売買及び取引の状況

(2019年12月26日から2020年12月25日まで)

■公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	ア メ リ カ	社 債 券	千アメリカ・ドル 3,702	千アメリカ・ドル 267 (4,078)

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

*社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれていません。

主要な売買銘柄

(2019年12月26日から2020年12月25日まで)

■公社債

当			期		
買 付		金 額	売 付		金 額
銘 柄			銘 柄		
		千円			千円
YUM! BRANDS INC 3.75	11/01/21	60,886	BOMBARDIER INC 8.75	12/01/21	29,086
NETFLIX INC 5.375	02/01/21	47,851			
FORD MOTOR COMPANY 9.215	09/15/21	46,002			
OCCIDENTAL PETROLEUM COR 2.6	08/13/21	33,817			
DELL INC 4.625	04/01/21	23,755			
KB HOME 7	12/15/21	23,272			
ALLY FINANCIAL INC 4.25	04/15/21	21,262			
NAVIENT CORP 6.625	07/26/21	20,920			
CENTURYLINK INC 5.625	04/01/20	17,963			
DISH DBS CORP 6.75	06/01/21	17,945			

*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

利害関係人との取引状況等

(2019年12月26日から2020年12月25日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

組入資産の明細

2020年12月25日現在

■ 公社債

A 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	額 面 金 額	当 期			組入比率	うち BB格以下 組入比率	末		
		評 価 額		残存期間別組入比率			5年以上	2年以上	2年未満
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額						
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 5,973	千アメリカ・ドル 5,991	千円 619,985	% 93.5	% 78.8	% —	% —	% 93.5	
合 計	—	—	619,985	93.5	78.8	—	—	93.5	

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

B 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

銘 柄	種 類	利 率	額 面 金 額	当 期		償 還 年 月 日
				評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦貨換算金額	
(アメリカ・ドル…アメリカ)		%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
FORD MOTOR COMPANY	社 債 券	9.2150	410	432	44,802	2021/09/15
NUSTAR LOGISTICS LP	社 債 券	6.7500	310	311	32,194	2021/02/01
ALLY FINANCIAL INC	社 債 券	4.2500	500	505	52,305	2021/04/15
CIT GROUP INC	社 債 券	4.1250	450	451	46,728	2021/03/09
CSC HOLDINGS LLC	社 債 券	6.7500	410	427	44,203	2021/11/15
DISH DBS CORP	社 債 券	6.7500	555	565	58,565	2021/06/01
DELL INT LLC / EMC CORP	社 債 券	5.8750	258	258	26,787	2021/06/15
DELL INC	社 債 券	4.6250	295	296	30,702	2021/04/01
KB HOME	社 債 券	7.0000	590	613	63,456	2021/12/15
NAVIOS MARITIME ACQ CORP	社 債 券	8.1250	270	180	18,632	2021/11/15
CNH INDUSTRIAL CAPITAL L	社 債 券	4.8750	435	439	45,485	2021/04/01
NETFLIX INC	社 債 券	5.3750	600	603	62,436	2021/02/01
NAVIENT CORP	社 債 券	6.6250	325	332	34,450	2021/07/26
YUM! BRANDS INC	社 債 券	3.7500	565	572	59,233	2021/11/01
合計	—	—	5,973	5,991	619,985	—

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

投資信託財産の構成

2020年12月25日現在

項 目	当 期		末 率
	評 価 額	比	
公 社 債	千円 619,985	% 92.2	
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	52,243	7.8	
投 資 信 託 財 産 総 額	672,229	100.0	

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 アメリカ・ドル=103.48円

* 当期末における外貨建資産（662,183千円）の投資信託財産総額（672,229千円）に対する比率 98.5%

米ドル高利回り社債マザーファンド2021-12

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年12月25日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	683,024,783円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	44,900,165
公 社 債(評価額)	619,985,700
未 収 入 金	10,798,980
未 収 利 息	6,979,971
前 払 費 用	359,967
(B) 負 債	20,044,447
未 払 金	10,807,039
未 払 解 約 金	9,237,408
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	662,980,336
元 本	615,080,262
次 期 繰 越 損 益 金	47,900,074
(D) 受 益 権 総 口 数	615,080,262口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	10,779円

* 元本状況

期首元本額	740,937,157円
期中追加設定元本額	23,529,382円
期中一部解約元本額	149,386,277円

* 元本の内訳

米ドル高利回り社債ファンド2017-03 (為替ヘッジあり)	351,412,954円
米ドル高利回り社債ファンド2017-03 (為替ヘッジなし)	263,667,308円

損益の状況

自2019年12月26日
至2020年12月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	40,451,483円
受 取 利 息	37,016,739
そ の 他 収 益 金	3,440,710
支 払 利 息	△ 5,966
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△61,281,040
売 買 益	3,858,712
売 買 損	△65,139,752
(C) そ の 他 費 用	△ 281,031
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△21,110,588
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	82,739,495
(F) 解 約 差 損 益 金	△15,246,301
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,517,468
(H) 計 (D+E+F+G)	47,900,074
次 期 繰 越 損 益 金(H)	47,900,074

* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

* 解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。